街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

# まちかど

●荏原第一地域新聞●

第157号
平成28年(2016)4月発行
発行・事務局
◎ 荏原第一地域センター ◎
小山 3-22-3 (〒142-0062)
tel 3786－2000
fax 3786－5385

## 富士のふもとで雪遊び
### 地区委員会の人気イベント

地区委員会主催による冬の企画「富士のふもとで親子スキー&スノボー&そり遊び」が2月21日(日)に実施されました。

同委員会主催によるこのイベントは、今年で6回目になり、参加者はおとな49名、子ども51名の総勢100名。

会場である静岡県裾野市の「スノータウンYeti」に到着すると、富士山の2合目あたりに位置する当地の目の前には、真っ白に雪をたたえた富士山がそびえたっていました。

富士を間近に見ながら雪遊びを楽しむ

寒さが厳しい時期に催されるこの企画ですが、今年は暖冬により例年にくらべ雪の量は少なく、使用できるコースは限られました。しかし、初めてスキーに挑戦する子どもたちをはじめ、お父さん、お母さんといっしょに雪遊びを楽しむ子どもたちには笑顔が絶えませんでした。

大きなケガもなく、次回もぜひ参加したい、という声が多数ありました。

## ◎男の料理教室◎
## 和風に挑戦！
### 健康づくり推進委員会

荏原第一地区健康づくり推進員会主催による「男の料理教室」が3月9日(水)、荏原保健センター調理実習室で行われました。参加者は町会長をはじめ町会役員、推進委員ら25名。

この日のメニューは「サバの味噌煮」と「野菜たっぷりの味噌汁」、「カブのゴマ和え」、デザートは「ミカン缶ゼリー」の4品です。

栄養士の岩倉さんからレシピが配られ、参加者は頭に三角巾をかぶり、ふだん着慣れないエプロンを着けて、いよいよ実習がスタート。

あちこちの調理台から質問が飛び交い、その都度、講師の先生は答えて回ります。

和気あいあいのうちに調理が進んで完了。試食しながら感想をのべあいました。

「味噌汁の野菜のうま味がよく出ている」など自画自賛の声が多く聞かれましたが、「味噌汁が薄味だったが、体のためには良さそうだ」といった健康を気遣う声もありました。

食後、久保講師から「シニアの皆さんが元気に暮らしていくために、今日の料理教室が少しでもお役にたてば」と、締めくくりました。

(健康づくり推進委員会代表　大高一浩)

元気に暮らしていくには和風が一番！

## スクエア荏原で避難所訓練
### 3町会合同で139名が参加

平成27年度スクエア荏原の避難所訓練が3月5日(土)10時から実施されました。参加者は荏原3丁目町会29名、荏原4丁目町会52名、平塚4丁目町会50名の他、関係者8名。

内容は、3グループに分かれて、かまどやベンチ、非常発電機など防災設備を見学しました。

この後、防災課から避難所運営ゲーム(HUG)訓練の説明と紹介がありました。これは、各グループが避難所運営に関する課題を協議し、答えをまとめて発表するものです。

次にビニールシートを敷いて避難生活場所の区画割り、簡易トイレの使い具合を試してみました。閉会後、非常用物資が配られ散会になりました。

## 荏原六中では小山5丁目町会が合同AED操作を体験

平成27年度荏原第六中学校避難所訓練が3月6日(日)9時から実施されました。参加者は小山5丁目町会から48名、荏原消防署小山出張所、同校校長先生ら関係者9名。

2班に分かれて、まず簡易トイレの組立てと解体作業に挑戦。

AEDの操作訓練では全員が体験できるように消防署署員が使用法と心臓マッサージを指導。

また区の防災課職員がバーナーで湯を沸かし、町会婦人部がアルファ化米を作って、参加者に配布しました。

## 花めぐり

### あさひ公園のカリン

小山3丁目のあさひ公園の奥にカリンの木があります。

カリンはバラ科の植物で、花は可愛らしいピンク色や白色で、3月下旬から4月下旬に咲きます。黄色で大きめな楕円形の果実は、10月から11月に収穫されます。果実は渋くて堅く、そのまま食べることはありません。

昔から咳や痰など喉の炎症に効くといわれ、砂糖漬けや果実酒に加工されることが多く、のど飴としても販売されています。

書物などを見ると、近縁なマルメロの果実もカリンと称されていますが、正しくないと記されています。今までカリンと思っていた木は、もしかするとマルメロかもしれませんね。どこがどう違うのか、ご覧になって是非確かめてください。

あさひ公園のカリンの木は、果たしてカリンでしょうか、マルメロでしょうか？

(中原共和町会　青木富代)

## 街角ウォッチング

### ユニークな街路灯

昼間歩いていても、ほとんど気が付かない街路灯ですが、暗くなると、がぜん存在感を発揮しはじめます。 荏原第一地域センター近くの通称「小山一番通り」の街路灯は、様々な工夫があって楽しめます。この通りには、両側合わせて48本が建っています。平成20年から、色が変わるロマンチックな明かりを採用して話題になりました。たとえば、イベントや季節にふさわしい色に点灯されます。ひな祭りや桜の季節にはピンク色に、夏から秋にかけては涼しげな青色や紺色を使います。また、クリスマスには赤とグリーンの2色を組み合わせ、お正月には赤一色に点灯されます。これらの色替えは、武蔵小山一番通り商栄会の役員の皆さんがリモコンを操作して行っているそうです。

また、電柱はメッセージボードの役割も果たしています。ちょうど目線のあたりに、「お知らせ版」を掲げて、各種のイベントや催し物などを通行人にお知らせするものです。こちらは、その都度、役員が手作業で掛け替えているそうです。このほか、街路灯にはナンバーが付けられ、緊急時などに、位置を特定するのに役立っています。

(小山台1丁目東町会　川崎喬子)

◎各ご家庭に配布しております。１部ずつお取り下さい。　次号『まちかど』は、５月２０日(金)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。　http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/
古紙を配合した紙を使用しています